

鷗朋会ニューズレター

第1号

2002.5.30
鷗朋会 発行
大阪府立大学大学院工学研究科
海洋システム工学分野気付
〒599-8531 堺市学園町1-1
TEL/FAX : 072-254-9914

田口先生叙勲受章！

大阪府立大学名誉教授の田口賢士先生が、多年にわたる船舶システム工学の教育研究への功績により、平成14年春の叙勲にて、勲三等瑞宝章を受章されました。

海洋システム工学教室と鷗朋会では、6月22日(土)午後1時より大阪府立大学学術交流会館にて、叙勲受章記念祝賀会を開催します。詳細は別記のとおり。

○日 時 平成14年6月22日(土曜日)
午後1時より3時まで(午後0時30分受付始)

○場 所 大阪府立大学学術交流会館

○会 費 12,000円

参加ご希望の方は、下記連絡先へお申込みください。

会費払込につきましては、下記銀行口座へお振込みくださるか、郵便局で定額小為替をお求めの上、下記連絡先宛へ郵送ください。

- 銀行口座 紀陽銀行 中もず支店 普通 3 1 5 7 6 9
- 田口先生受章祝賀会
- 連絡先 〒599-8531
- 堺市学園町1-1
- 大阪府立大学工学部海洋システム工学教室内
- 田口賢士先生受章祝賀会係
- FAX 072-254-9914
- 電話 072-254-9337 岸
- E-mail kishi@marine.osakafu-u.ac.jp

Information

●第11回青少年サマーセミナー●

毎年夏休みに、大阪府下の小学校高学年及び中学生を対象として体験参加型学習を行う「青少年サマーセミナー」を今年度も開催いたします。

テーマは現在未定ですが、「海洋資源利用」の手法や現象に関する内容を行う方向で準備を進めております。

対象となるお子様がおられましたら、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 対象：大阪府下の小学生高学年及び中学生
- 期間：Aコース 平成14年8月22日(木)
- Bコース 平成14年8月23日(金)
- 時間：9:30~15:00
- 場所：大阪府立大学 学術交流会館
多目的ホール(予定)
- 会費：¥1,000(予定)

- 問い合わせ
〒599-8531 堺市学園町 1-1・大阪府立大学工学部
海洋システム工学部 青少年サマーセミナー係
Fax : 0722-54-9914
Mail : jimur@marine.osakafu-u.ac.jp

●社会人大学院制度●

会社に「席」を置きながら研究し、工学博士を取得できるシステムです。

(<http://www.eng.osakafu-u.ac.jp/graduate/invite.htm>)

大阪府立大学大学院工学研究科では、一般の企業等に勤務されている社会人の方々にも、博士号や修士号を取得していただける「社会人特別選抜」制度を設けています。

本制度では、特別研究や特別演習などの科目を職場で実施することも可能です。ただし、入学願書提出前(第1次募集：6月初旬、第2次募集：12月中旬)に工学研究科と出願協議をすることが必要です。

詳細は、年度始めと11月に発表される「大学院工学研究科博士課程募集要項」(<http://www.eng.osakafu-u.ac.jp/graduate/h14shakai.pdf>)をご覧ください。下記連絡先へお問い合わせください。

- 連絡先：
大阪府立大学工学部事務課総務・教務グループ(教務)
〒599-8531 堺市学園町1-1
TEL: 072-252-1161(内線:2209)

海と人との調和を拓く



大阪府立大学 海洋システム工学科

『海は広いな、大きいな』
—広報キャンペーン実施中！—

船舶工学科から海洋システム工学科に変わってから早くも10年目の新入生たちが仲間入りしてきました。ところが、最近、海洋システム工学科の人気は今ひとつ…。受験生の目は、偏差値の高い学科に向いていて、本当に面白いことや興味のあることを見失いがちです。

「海のことをどれだけ知っていますか？」と訊かれて直ぐに的確な答えをすることは難しいと思います。それほど海洋に係わる内容は広範かつ多岐に亘っていて、しかもとても奥の深いものです。華々しく見える航空宇宙工学や情報工学に勝るとも劣らない海洋システム工学の魅力を知って欲しい。そんな願いを込めて、まずは海洋システム工学科のことを知ってもらおうと、広報キャンペーンを展開しています。本年度の学科パンフレットを2,000部作成して、機会ある毎に高校生や受験生を対象に配布しています。鷗朋会会員諸兄におかれましても、このような機会がございましたら、ご連絡いただきますようご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ・パンフレット請求先】

平成14年度学科広報担当：有馬 正和(内線2363)

email : arima@marine.osakafu-u.ac.jp

●キャンパス見学コースのご案内●

一昨年度2001年より、本大学ではキャンパス見学コースと称して、夏期休暇期間中に本学施設の見学並びに説明を、受験希望者及び保護者等を対象として実施しています。

従来本学において5月末日と6月中旬に大学案内および学部案内が実施されていましたが、参加者からの研究室、講義室、研究施設等の見学の希望が多く、昨年より本学のガイダンスの一事業としてこの企画が実施されることとなりました。

昨年度実施内容：

- 2001年大阪府立大学キャンパス見学コース
- 第1部 午後1時~2時本学主要施設見学
(総合情報センター、先端科学研究所)
- 第2部 午後2時~3時各学部研究施設等の見学

■第2部(工学部)詳細

- 7月25日 船舶試験水槽等(海洋システム工学科)
- 生産技術センター附属材料実験室(機械システム工学科)
- 8月1日 風力・太陽光発電システム(電気・電子システム工学科)
- 量子物性研究室(電子物理工学科)
- 8月8日 府大池の水質削ヒシステム(機能物質科学科)
- 透過型電子顕微鏡TEM(材料工学科)
- 8月22日 ジェットエンジン等(航空宇宙工学科)
- 知的システム研究室の概要(経営工学科)

昨年度の参加者数は当初予定していた人数よりも多く、また参加者に対するアンケート結果も好評であったため、今年度も実施する予定となっています。本年度計画は現時点では暫定的なものです。概ね下記のとおりです。

- キャンパス見学コース
 - 見学対象：受験希望者及び保護者等
 - 場 所：大阪府立大学キャンパス
 - 日 時：7月31日~8月28日(4回開催予定)

- なおお問い合わせ先等の詳細については、5月末頃本学ホームページに掲載予定です。
- ご興味もたれました方はぜひ参加ください。
- (<http://www.osakafu-u.ac.jp/kyoumu/2002fudai-guidance-for-hp/2002guidance-poster.htm>)

大阪府立高校の高校生(と大阪府立大学の大学生・大学院生)を対象に、大阪府立大学における最先端の研究を夏季集中講座という形で紹介します。

工学研究科13分野の研究を各分野の教授が90分講義でわかりやすく解説します。

新しい物やシステムを創造する喜び、地球環境や資源・エネルギー問題への挑戦とそれらが社会に生かされ世の中の役に立っていく感動は、工学の研究者やエンジニアにしか味わえないものです。

その一端を大学生と一緒に学び、皆さんが机上で勉強したことが実際にどのように生かされていくか、そのおもしろさを実感し、またじっくり人生の方向を見定めるのに役立ててください。

対象：大阪府立高校の高校生、大阪府立大学の大学生・大学院生
 期間：平成14年7月29日(月)、30日(火)、8月1日(木)、2日(金)、計4日
 時間：9:30~16:50、1日に90分授業を4コマ
 場所：大阪府立大学 学術交流会館 多目的ホール
 講師：各分野の教授

詳しくは、<http://www.eng.osakafu-u.ac.jp/jikoten/HU/2002.htm> をご覧ください。

問い合わせ：
 〒599-8531 堺市学園町 1-1
 大阪府立大学 工学部事務課 総務・教務グループ(教務)
 Tel: 072-252-1161内線 2209あるいは2210) ・ Fax: 072-254-9903

■「21世紀の工学研究の最先端」参加者の声■

「21世紀の工学研究の最先端」の講義を受けて私の中に残ったのは“新鮮さ”です。高校生と一緒に講義を受ける“新鮮さ”。そして、それは自分が高校生の時、何を考え、何を目標として大学に入学したのかを改めて振り返る機会になりました。

大学に入って感じたことは、大学の勉強は、高校までの勉強とは全く違うということです。大学の勉強には、将来へつながる夢でいっぱいです。何を勉強したいのか、それに向かってどう行動するのか、すべてを自分で決めることができるのが、大学での勉強・学びです。そこが大学の学びの魅力でもあり、難しい点でもあります。

今、私は2回生で将来のことも考え始めています。高校生の時も、将来のことを考えていました。具体性のない夢みたいな将来像でしたが、その夢に一つでも近づけるよう、大学へ入学しました。しかし、入学して専門科目のいろんな基礎学問を勉強していくうちに、自分の中で将来に対する考え方が変わっていききました。高校の時には知らなかったいろんな研究を知り、いろんなことに興味を持つようになりました。そういう時にこの「21世紀の工学研究の最先端」の講座を受けることで自分の中に“新鮮さ”が生まれました。大学という未知の世界で、あれもしたい、これもしたいという何にでも好奇心を持っていた高校生の頃の感覚が、“新鮮さ”と共によみがえってきました。将来の夢が少しずつ変化していることに驚きつつも、やりたいことがいろいろ出てきていることがうれしく、この大学に入って、この学科を専攻できて本当に良かったなと思いました。私の学科の研究の最先端の講義についてすべてを理解できたわけではありませんが、将来自分がしたい研究の具体性を少しでも持つことができました。

また、この講座の最大の魅力は他学科の研究の最先端に触れることができることにあります。大阪府立大学の工学部のすごい所は13学科も学科が分かれているところだと思います。私は環境問題に興味があります。この問題は他の学科でも扱っていますが、そこでどういった研究がなされているのかに触れる機会は普通の授業ではあまりありませんでした。環境問題はとても複雑でいろんな観点から研究されています。それを、少しでも知りたいと思いつつ、何もできない状態でした。せっかく同じ大学の同じ工学部で学んでいるのに勿体ないことをしているなど。しかし、この講座のおかげで他学科の研究の最先端を少しでも知ることができました。しかも、その研究をされている教授自らの話が聞け、高校生にもわかるように話して下さるので、違う学科に所属している私でも無理なく聞くことができました。自分の将来を考える際の一つの要素になったと思います。

また、これは、講座の新しい形だと思います。各自の興味のある講義に、所属学科と関係なく受講できるというのは、学ぶ私達学生にとってとてもうれしいことです。やはり、最先端の研究には興味があるし、何より学科と関係なく受講できる点が画期的だと思います。高校生にとっても、分野にとらわれずに研究の最先端に触れることのできるこの講座は、大学で専攻する学問分野を決める上で、とても有意義なものになったと思います。

最先端の研究を身近に感じる場として、この講座はすごくいいものだと思います。大学生にとっても、高校生にとっても、“新鮮さ”あふれるものであったと思います。これからいろんな研究の最先端に触れ、いつも心の中に“新鮮さ”を持ち続けていきたいです。

海洋システム工学科 2回生 養父 碧

大学院後期課程修了

呉念東(奥野研究室)・ティアイエス(株)

大学院前期課程修了

- 会田 晋介(奥野研究室)・日本アイ・ビー・エム(株)
- ・荒井 康介(馬場研究室)・阪急電鉄(株)
- ・新井 励(奥野研究室)・日本ミクニヤ(株)
- ・安藤 準(細田研究室)・日本電気(株)
- ・大西 暢之(姫野研究室)・(株)商船三井
- ・奥坂 泰弘(姫野研究)・本田技研工業(株)
- ・加茂 知子(池田研究室)・日立造船(株)
- ・塩谷 淳(大塚研究室)・(株)石垣
- ・杉本 創(姫野研究室)・三菱重工業(株)
- ・高橋 務(岸研究室)・三菱電機(株)
- ・坪井 雅人(岸研究室)・三井造船(株)
- ・手嶋 晃(池田研究室)・(財)日本海事協会
- ・寺田 芙美(奥野研究室)・松下電工(株)
- ・内藤 直樹(岡田研究室)・トヨタ自動車(株)
- ・中野 徹(岡田研究室)・ダイハツ工業(株)
- ・西澤 智(正岡研究室)・石川島播磨重工業(株)
- ・松本 吉倫(大塚研究室)・日本アイ・ビー・エム(株)
- ・山崎 祥司(大塚研究室)・花王(株)
- ・山本 和由(馬場研究室)・三菱自動車工業(株)
- ・林 豪(姫野研究室)・トヨタ自動車(株)
- ・坂口 陽一郎(田原研究室)・和歌山県庁

●平成13年度卒業生 就職先一覧●

学部卒業

- ・ 更井順則(大塚研究室)・(株)キースエンタープライズ
- ・ 柴田真夫(池田研究室)・日産自動車(株)
- ・ 橋本卓(姫野研究室)・川崎重工業(株)
- ・ 渡邊皇介(細田研究室)・ホーコス(株)

♪会費納入のお願い♪

会員の皆様方には大変お手数をおかけいたしますが、平成14年度分の会費(2,000円)を同封の振込用紙にてお振り込みいただきますようお願い申し上げます。請求書と同封しておりますのでご確認ください。なお、5月29日現在、すでに会費を頂いている方には請求書が同封されておられませんのでご了承下さい。